

宇治川をめぐる

令和8年（2026）
9月12日〔土〕
～
11月29日〔日〕

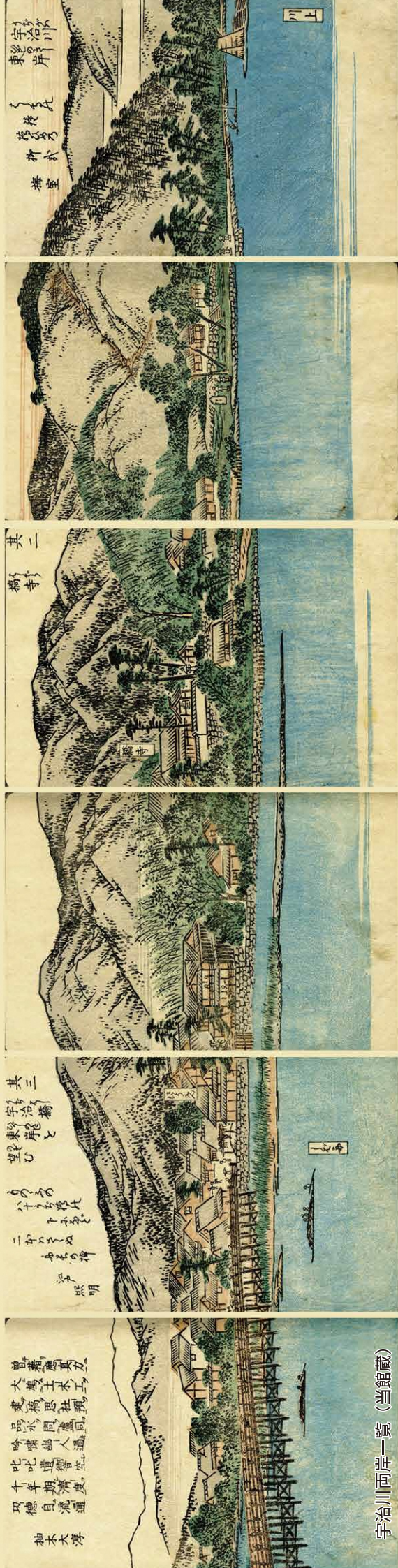
●JR・宇治駅、京阪・宇治駅から、バス「太陽が丘」
「維中前」「宇治文化センター」行きに乗車し、
「宇治文化センター」で下車



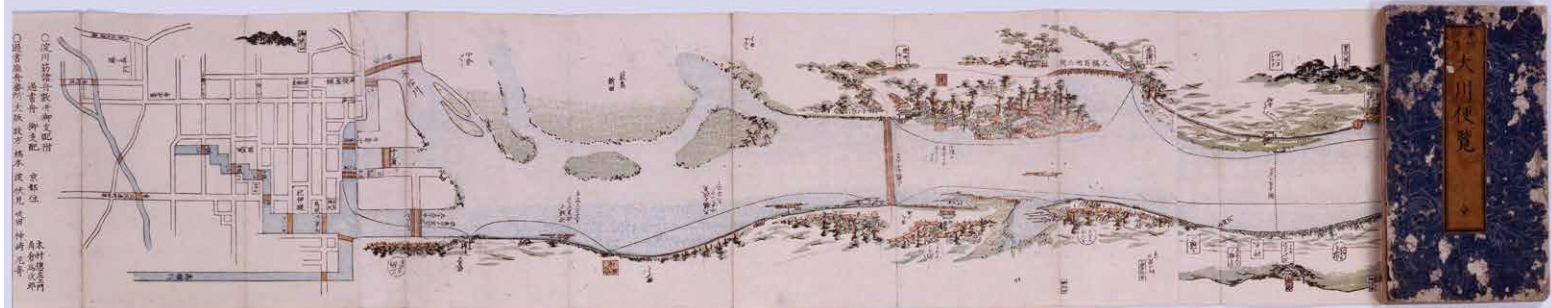
宇治市歴史資料館

〒611-0023 宇治市折居台 1-1(宇治市文化センター内)
TEL / 0774-39-9260 FAX / 0774-39-9261

【後援】 NHK 京都放送局 KBS 京都



宇治川兩岸一覽(当館蔵)



大川便覧（当館蔵）

琵琶湖を水源とする宇治川は、はじめ瀬田川といい、山間部を抜けて宇治川と名を変え、巨椋池（大池）を経て、淀の辺りで北からの桂川、南からの木津川と合流して淀川となり、大阪湾へ流れ込みます。関西随一でもあるこの淀川水系は、これまで豊かな歴史や文化を育んできました。

本展では、江戸時代の宇治川をめぐり、宝暦6年（1756）の宇治川洪水を中心とした水害と御茶師について紹介するほか、宇治川の水運を利用した屎尿肥料の運搬や巨椋池における水鳥と狩猟、そして、今回新たな知見を得た大正15年（1926）にはじまった宇治川の鵜飼について、江戸時代以降の古文書や絵図、写真などを通して紹介します。



獅々飛宇治細見日記（当館蔵）



宇治川名石一覧（当館蔵）

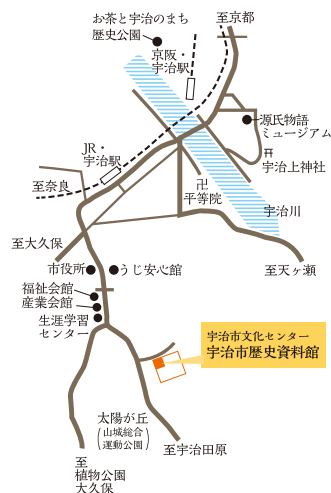
子ども体験講座

会期中の日曜日に川にまつわる関連講座（親子向けギャラリートーク、クイズラリーなど）を行います。

子ども体験講座の詳細はこちら→



巨椋池漁労用具（当館蔵）



交通案内

- JR・宇治駅から徒歩20分
- JR・宇治駅、京阪・宇治駅から、バス「太陽が丘」「維中前」「宇治文化センター」行きに乗りし、「宇治文化センター」で下車

特別展記念講演会

日 時 10月7日(水)午前10時～11時30分
演 題 宇治川・木津川の地形と水害史
講 師 植村善博さん（佛教大学名誉教授）
会 場 宇治市中央公民館 展示集会室
定 員 80名(応募多数の場合抽選)
参加費 250円
申 込 往復はがきに、「特別展記念講演会10月7日」、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号をご記入の上、9月27日(日)必着で宇治市歴史資料館へ。または、LINEもしくはWEB上から申込。1回の申込につき1人まで。(持参の場合は返信用はがきだけで可。)
LINE・WEB申込は下記二次元コードより。

協 力 宇治市危機管理室

歴史講座

日 時 11月6日(金)午前10時～11時30分
演 題 水害と御茶師 ―宝暦6年水害を中心に―
講 師 坪内淳仁(宇治市源氏物語ミュージアム学芸員)
会 場 宇治市中央公民館 展示集会室
定 員 80名(応募多数の場合抽選)
参加費 100円
申 込 往復はがきに、「歴史講座11月6日」、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号をご記入の上、10月25日(日)必着で宇治市歴史資料館へ。または、LINEもしくはWEB上から申込。1回の申込につき1人まで。(持参の場合は返信用はがきだけで可。)
LINE・WEB申込は下記二次元コードより。

特別展記念講演会・歴史講座の申込はこちらから



LINE申込



WEB申込

※当日、午前8時時点で、宇治市内に気象警報のいずれかが発表された場合は、当日の開催を中止します。ご了承ください。

宇治市歴史資料館

〒611-0023 宇治市折居台 1-1(宇治市文化センター内)
TEL 0774-39-9260 FAX 0774-39-9261